

## こくど会 2017年懇親会報告

2017年の懇親会は6月18日(土)12時から青学会館アイビーホール2Fミルトスの間で行われました。

前半は柴田幹事の司会で始まり、恒例のこの一年間に亡くなった竹林清一郎、川野博、松岡一雄、知久晴雄、杉田光正、高柳新一、矢作實、川原田誉雄、岡栄吉、大津金市、伊藤幸郎、木村勇、石井富雄、村田金司、並木良治、今関宜行(敬称略)の16名の方の名前が読み上げられ黙とうをささげました。

続けて大竹会長、朝倉社長のご挨拶に続きこれも恒例の最年長者(今年は中村榮次さん 90歳)の音頭で乾杯が行われ祝宴が始まりました。

今年は会社ご来賓6名を含め35名と大幅に参加者が減少。亡くなった方やホームに入居してしまわれた方。足腰の状況が悪化して出歩けなくなった方、地域活動と重なった方等と様々な要素が一気に重なってしまったことが原因ですが、一方で退任された工藤前社長等何名かの初参加もありましたが、一方会社や業界の人手不足で多くの方が定年過ぎても現役を続けていて新たなOBが増えてこないこともその要因の一つと思われます。シニア社員や再雇用の方、途中で退職した方等皆さんOBの資格がありますので、是非次回以降ご参加いただければと思います。

とはいえ集まった方には食事や会話を楽しんでもらえたものと思います。また中には入院中の病院から直接駆けつけてきた会員の方もいました。後半は松倉幹事の司会ですすめられました。恒例となりつつある催しは昨年の奇術に続き今年はお笑芸人Bigboysのトークショーで会場の笑いを集め、盛り上がりました。その後今回初参加となった安達康助、木村秀夫、工藤睦信、村井興春、谷中稔(敬称略)の皆様よりそれぞれの近況を話していただきました。

最後はこれも恒例ですが最も遠い九州から参加された都地正登さんの手締めで終了。堂上高治さん親子のお世話で集合写真撮影を行った後、解散となりました。



## ■大竹会長

本日は多数のご出席ありがとうございます。本社からは朝倉社長以下6名ご列席いただいております。

毎日、新聞やテレビニュースを見ておりますとトランプ大統領のニュースが頻繁に行われています。一番私が心配しているのはテルアビブにあるアメリカ大使館をエルサレムへもって行くという話があります。これが行われますとまた中東戦争が起こるのではないかと懸念しております。何とか諦めてもらって平穏が続けばと願っております。

私は国土に入りましてほぼ30年間設計の業務を行わせて頂きました。その中で大ピンチがあったこととお話したいと思います。

昭和41年に入社し、広島支店にて4現場2年弱勤務後に家庭の事情で本社へ配置換えしていただきました。実家が薬局をやっている薬剤師の兄が外へ出た為、私が後を継ぐかどうかという話で薬剤師の女性何人かとお見合いをいたしましたがいりませんで、そのまま本社設計部へ勤務させていただくことになりました。

最初の仕事は東電品川火力発電所でそこは埋め立て地の野っ原で何も無い所でした。そこに杭を打っていたのですが、その杭の載荷試験を担当していました。意匠系をめざしていた私には存外の話だったのですけれど現場監督ということで土木や建築の構造の方と一緒にやらせて頂きました。そこには電源がないものですから遠くから直径4cm位のキャプタイヤを持ってこなくては行けない。そのキャプタイヤが正月の間に盗まれるのではないかと、100m以上あったので盗めば結構な金額にはなるのでということで、正月休み中は1日1回見に行けと言われてまして休んだ気がしなかったのと、あとは寒さですね。一応事務所にストーブはあったのですが寒くて寒くてしようがなかった。そこで事務方が近所に配る酒一升瓶が5本事務所にあったのですが、私は近隣に配ることなど、どうも考えてなかったものですから、事務所で飲む為のものと勝手に思い込み私が飲んでしまったのです。おかげで体は温まったのですが困った経験をしてしまいました。

次に行きましたのが金沢八景のローズマンションアネックスの現場です。アネックスは別館という意味で、ローズマンションがあって、その横のアネックス別館を当社が施工で頂いたものです。

この施工図の応援に行きました。こちらは鉄骨鉄筋コンクリート造。SRCの14階建。当社としては14階建というのは初めての施工でございまして、私も今までRCしか見たことがございませぬのでSRCがどういうものかをここで勉強させて頂いた訳でございます。

その後日本新都市開発さん所沢スカイマンションA棟というSRC14階建の設計施工物件が舞い込んで参りまして昭和45年に契約し46年に着工しております。更に47年48年にBC棟を着工しました。その間に大阪支店の川西市の西武都市開発(後の西洋環境開発)さんですけれどもこちらが事業主さんでありましたグリーンハイツ向陽というのが300戸ありまして、これが46年に着工しております。柏の沼南エリカ。これが450戸位。これも48年着工で50年に竣工しました。ですから45年から50年までの5年間に全部で1056戸のマンションを設計施工でやらせて頂きました。

大変な忙しさでしたが何とかやり遂げて良かったと思っています。

この沼南エリカの初期段階で問題がありまして、自治体の方で事業者がやりたい放題やればインフラ整備に莫大な費用がかかることがわかって来たのだらうと思いますが、開発指導要綱の変更ということで人口制限が出来まして、当初沼南エリカは700戸を超えておりましたが人口抑制という

ことで456戸に減らされてしまいます。

これはトーマンと私共の共同事業ということになっていたのですが、担当は私一人で沼南町から千葉県庁へ通っております。その為トーマン側からこれは大竹の折衝不足。いわゆる怠慢ではないかという意見がでて参りまして、私自身は一生懸命やっていたつもりでしたので何とかしようということで事業計画に参画している東京支店の部長クラスの方に一緒に行っていただくことにしました。設計の植木さんだと仲間でかばっていると勘繰られるので、第三者的な意味で、たしか椎木さんだっと思いますが、一緒に行って「開発指導要綱の突然の人口抑制策の為の改定である。」ことを説明して頂き、何とかトーマン側の納得を得ることができました。

これで事業を継続することが出来たのでございます。このように継続できました関係でその後のオランダ村へとつながる訳でございますけれど、オランダ村が始まったのは私が40歳の時でございまして、それから15年位続いた訳でございます。

最近の話では設計施工物件が建築工事費全体の37%位占めているといううれしい話を聞きましたけれど、営業の皆さん設計要員が足りず苦しんでいることとは思いますが是非頑張って仕事を続けていてもらいたいと思います。

本日はご来場有難うございました。

## ■朝倉社長

私の方からはまず会社の近況をご報告申し上げたいと思います。

わが社の今の売上は1,000億円位というところで踊り場状態になっています。一時堅調に伸びていましたが、現在社員数が1,000名前後、その内60歳以下の正社員は850名しかいませんので土木、建築の技術者がいないとこれ以上の売上は難しく、イレギュラーであっても様々な策を講じなければ施工量をこなせないのが現状でございます。

営業利益は6年くらい前からずっと右肩上がりに伸びて来まして、おそらく現在の集計では前期88期は70~80億円まで行くだらうという予想となっており、更生法後最高額となる見込みです。来期は震災復興需要がやや収束すると見込まれており、利益は今期並みかやや減少が予測されるものの、かなり高止まりであとしばらくは何とかいけるのではないかと思っています。

また業界ランクは更生法の後しばらく低下して50~60位くらいにいたこともあると思いますが、現在は何とか30位以内になってきました。私が入社した頃に売上1,000億円というカベがありましたが、その頃のランクといまやっと同じくらいに戻ってきたところでございます。

利益や社員の待遇面では非公式データですが業界ランクは10番台後半ということで、業界全体が良い中でも皆が健闘してくれていると思っています。

今新人をどんどん採ってまして60歳までの正社員の平均年齢が42.7歳、平均年収が800万円を超えるくらいになりました。また社員のトップレベルの年収が1,300万円位になり、5~6年前に比べると本当に異次元の状況になっています。

これ以上伸びる為には、やはり要員が足りません。ですので、どうやって次の利益を拡大して行くのか、これから落ちてくるであろう受注に対しいかにして安定した利益を確保するかが今後の課題でございまして、人が増えることを期待できない中で会社を成長させるためにいろいろな手を尽くさなければならない。そういう試みを次の3カ年でやっていくことが今予定されているところです。

土木の方が好調でございまして、88期今年5月までの受注で550億円位になっていて、今期もすでにおそらく400億円位の受注が確定している。まだ1か月しかたっていないのにもう400億近くありますから、時間的には人さえいればまだまだ伸ばしていけますが、人がいない為に受注出来ないのが今の悩みでございまして。

シニアの社員も65歳まではほとんど当たり前のように残って頂いていますので高齢の所長が増えましたが、皆先輩方に鍛えていただいた実力者達で現場に参りますと得意先の信頼も非常に厚く、継続的に稼いでくれています。実質的にはシニアの社員に頼って何とかしのいでいるというのが今の土木の実情です。

建築はエポックメイキングということになりまして、東海興業さんから来られた方が超高層のマンションを継続的に受注・施工していく体制が出来ていまして、これまで土木の利益が上回っていましたが、前期は建築の利益が土木を上回る結果になりました。

今期はまた土木の利益が上回る予定であるものの、建築の方も10～20億円になる見込みで、それだけでも会社の利益としては十分な金額ですが、関連事業も含め3事業部門合わせて大体70億円以上になると予想しています。

事業体制は「土木」・「建築」・「関連事業部」の三事業部体制にしておりまして、支店は営業的な組織になっています。今後は建築が安定してくることに加え、関連事業の太陽光発電で利益をあげていきます。また、厚木の技研と国土開発工業の施設を、つくば市に購入した土地に全部移転し、厚木の跡地を物流センターという形で事業化を行っていく予定となっております。

次の3カ年である程度のストックをキチンと整備すれば、オリンピック以降公共事業が落ち込むことを予測している中で安定した収益を得られる形ができるのではないかと考えております。

結びになりますが、このこくどOB会を見ますと地方でもかなり高齢化が進んでいるということですのでたくさんの人が集まれるような会になればと思っています。

会長以下の皆さんでいろんな工夫をしていただければもっと盛り上がるのではないかと考えていますので、是非よろしくお願ひします。

私もこれから更に会社を強くして行くということでがんばりますので、引き続き皆様のご指導と応援をお願いいたします。

皆様が健康で長生きされ、この会がずっと継続されることをお祈りし、日本国土開発のこれからの益々の発展も祈念させていただきまして私の挨拶とさせていただきます。

本日はまことにおめでとうございまして。